

対象校No. 1076
注4

学校コード G128210109196
注3

設置年度 令和 8年度

計画の区分： 高等専門学校の学科の設置
注1

届出

注2
神戸市立工業高等専門学校知能ロボット工学科

【認可】設置に係る設置計画履行状況報告書
(改正後大学設置基準適用)

神戸市公立大学法人
令和8年5月1日現在

作成担当者

担当部局(課)名 事務室総務課

職名・氏名 ケンキュウシヨクシカカリチキウシロウ
研究支援担当係長 木下愛一郎

電話番号 078-797-4550

(夜間) 078-795-3314

e-mail office-sk@kobe-kosen.ac.jp

- (注) 1 「計画の区分」は設置時の基本計画書「計画の区分」と同様に記載してください。
- 2 大学院の場合は、表題を「〇〇大学大学院・・・」と記入してください。
設置時から対象学部等の名称変更があった場合には、表題には現在の名称を記載し、その下欄に
()書きにて、設置時の旧名称を記載してください。
例) 〇〇大学 △△学部 □□学科
(旧名称：◇◇学科(令和◇◇年度より学科名称変更))
表題は「計画の区分」に従い、記入してください。
例)
・「〇〇大学 △△学部 □□学科」
・「〇〇短期大学 △△学科」
・「〇〇大学大学院 〇〇研究科 〇〇専攻(〇〇課程)」
・「〇〇大学 △△学部 □□学科(通信教育課程)」
- 3 学校コードについては、以下URLを確認の上、該当番号を記載してください。
なお、該当がない場合は、本番号は学校基本調査での「学校コード」と同様の番号ですので、
当該番号を記載してください。
https://www.mext.go.jp/b_menu/toukei/mext_01087.html
- 4 対象校No.については、「【別紙】令和8年度AC報告書提出対象学科等.pdf」より、
該当番号を記載してください。

目次

知能ロボット工学科

	ページ
1. 調査対象大学等の概要等	3
2. 授業科目の概要	7
3. 施設・設備の整備状況、経費	14
4. 既設大学等の状況	15
5. 教育研究実施組織の状況	16
6. 附帯事項等に対する履行状況等	31
7. その他全般的事項	33

1 調査対象大学等の概要等

(1) 設 置 者

神戸市公立大学法人

(2) 大 学 名

神戸市立工業高等専門学校

(3) 調査対象大学等の位置

〒651-2194

兵庫県神戸市西区学園東町8丁目3番地

(注)・対象学部等の位置が大学本部の位置と異なる場合、本部の位置を()書きで記入してください。

・対象学部等が複数のキャンパスに所在する場合には、複数のキャンパスの所在地をそれぞれ記載してください。

(4) 管理運営組織

職 名	設 置 時	変 更 状 況	備 考
理 事 長	(タケダ ヒロシ) 武 田 廣 (令和4年4月)		
学 長	(ハヤシ タイゾウ) 林 泰三 (令和5年4月)		
学 部 長			
学科長等	(ワセダ カズヨシ) 早稲田 一嘉 (令和8年4月)		

(注)・「変更状況」は、変更があった場合に記入し、併せて「備考」に変更の理由と変更年月日、報告年度を

()書きで記入してください。

(例) 令和7年度に報告する内容 → (7)

令和8年度に報告する内容 → (8)

- ・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更があれば、「変更状況」に赤字にて記載（昨年度までに報告された記載があれば、そこに赤字で見え消し修正）するとともに、上記と同様に、「備考」に変更理由等を記入してください。
- ・大学院の場合には、「職名」を「研究科長」等と修正して記入してください。
- ・大学独自の職名を設けていて当該職位がない場合は、各職に相当する職名の方を記載してください。

(5) 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等

- (注)・当該調査対象の学部の学科または研究科の専攻等、定員を定めている組織ごとに記入してください（入試区分ごとではありません）。
- ・なお、課程認定等によりコースや専攻に入学定員を定めている場合は、法令上規定されている最小単位（大学であれば「学科」、短期大学であれば「専攻課程」）のほか、それらのコースや専攻単位でも記載したものを、別ファイルにて提出してください。
 - ・様式は、令和3年度開設の4年制の学科が完成年度を越えて報告する場合（令和8年度までの6年間）ですが、設置計画履行状況等調査の対象期間が7年を越え、様式に変更が必要な場合には、別途ご連絡ください。
 - ・留学生については、「出入国管理及び難民認定法」別表第一に定められる「留学」の在留資格（いわゆる「留学ビザ」）により、我が国の大学（大学院を含む。）、短期大学、高等専門学校、専修学校（専門課程）及び我が国の大学に入学するための準備教育課程を設置する教育施設において教育を受ける外国人学生」を記載してください。
 - ・短期交換留学生など、定員内に含めていない学生については記入しないでください。

(5) ー① 調査対象学部等の名称等

調査対象学部等の名称（学位）	学位又は学科の分野	設 置 時 の 計 画				学生募集の停止について	備 考
		修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員		
知能ロボット工学科 準学士（工学）	工学関係	5 年	40 人	2年次 0 3年次 0 4年次 0 人	200 人	—	—

- (注)・定員を変更した場合は、「備考」に変更前の人数、変更年月及び報告年度を（ ）書きで記入してください。
- ・基礎となる学部等がある場合には、「備考」に基礎となる学部等の名称を記入してください。
 - ・「学位又は学科の分野」には、「認可申請書」又は「設置届出書」の「教育課程等の概要（別記様式第2号（その2の1）又は（その2の2））」の「学位又は学科の分野」と同様に記入してください。
 - ・学生募集停止を予定している場合は、「学生募集の停止について」で「新規入学者を募集停止予定」を選択するとともに、「備考」に「令和〇年度から学生募集停止（予定）」と記載してください。（学生募集停止を予定していない場合は「—」を選択。）

(5) ー② 調査対象学部等の入学者の状況

対象年度 区 分	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		春季入学以外の 学期区分につい て	収容定員 充 足 率	収容定員 充 足 率 (控除後)	備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期				
A 入学定員	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 — (—) [—]	人 40 (—) [—]	人 — (—) [—]	— 春季入学以外 の入学時期と 入学定員内訳	1倍	—	—
志願者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	52 [—] (—)	— [—] (—)				
受験者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	39 [—] (—)	— [—] (—)				
合格者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	40 [—] (—)	— [—] (—)				
B 入学者数	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	(—) [—]	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	() () [] []	40 [—] (—)	— [—] (—)				
入学定員超過率 B/A	—	—	—	—	—	—	—	—	—	—	1.00	—				

- (注)・報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。（過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。）
- ・調査対象学部等の開設年度から報告年度まで記入してください。なお、開設年度以前は「—」を記入してください。
 - ・（ ）内には、編入学の状況について外数で記入してください。なお、編入学を複数年度で行っている場合には、(())書きとするなどし、その旨を「備考」に付記してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・転入学生は記入しないでください。
 - ・[]内には、留学生の状況について内数で記入してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
 - ・学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期は「—」を記入してください。
 - ・「入学定員超過率」については、各年度の春季入学とその他の学期を合計した入学定員、入学者数で算出してください。なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
 - ・報告年度に春季入学以外の学期区分の設定を予定している場合は、「春季入学以外の学期区分について」で「春季入学以外の学期区分を設ける予定」を選択するとともに、下欄に、入学時期と入学定員の内訳（予定を含む）を記載してください。（春季入学以外の学期区分の設定を予定していない場合は「—」を選択。）
 - ・「収容定員充足率」には、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和9年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
 - ・なお、計算の際は小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。また、完成年度を越えて報告書を提出する大学等は、報告年度から起算した修業年限に相当する期間の収容定員充足率を記載してください。
 - ・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「—」としてください。
 - ・「(5) ー② 調査対象学部等の名称、定員、入学者の状況等」の「平均入学定員超過率」及び「収容定員充足率」は、「4 既設大学等の状況」AC対象学部学科等の倍率と一致しますので、留意して計算してください。

(5) 一③ 調査対象学部等の在学者の状況

対象年度 学 年	令和3年度		令和4年度		令和5年度		令和6年度		令和7年度		令和8年度		備 考
	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	春季入学	その他の学期	
1 年次	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	40 [—] (—)	— [—] (—)	—
2 年次			— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
3 年次					— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
4 年次							— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	— [—] (—)	
計	[—] (—)	[—] (—)	[—] (—)	[—] (—)	[—] (—)	[—] (—)	[—] (—)	[—] (—)	[—] (—)	[—] (—)	41 [—] (—)	[—] (—)	

(注)・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・ [—]内には、留学生の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ (—)内には、留年者の状況について、**内数で記入**してください。該当がない年度には「—」を記入してください。
- ・ 編入学生や転入学生も含めて記入してください。その際、備考欄に人数の内訳を記入してください。
- ・ 学期の区分に従い学生を入学させる場合は、春季入学とその他の学期（春季入学以外の学期区分を設けている場合）に分けて数値を記入してください。春季入学のみの実施の場合は、その他の学期欄は「—」を記入してください。
- ・ 「計」については、**各年度の春季入学とその他の学期を合計した在学者数、留学生数**を記入してください。

(5) -④ 調査対象学部等の退学者等の状況

区分 対象年度	在学者数 (b)	退学者数 (a)	内訳			主な退学理由 (留学生の理由は[]書き)
			入学した年度	退学者数		
				うち留学生数		
令和8年度	40 人	0 人	令和8年度	0 人	0 人	
合 計		0 人		0 人	0 人	

(注)・数字は、報告年度の5月1日現在の数字を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)

- ・各対象年度の在学者数については、対象年度の人数を記入してください。
- ・内訳については、退学した学生が入学した年度ごとに記入してください。また、留学生数欄の人数については、退学者数の内数を記入してください。
- ・在学者数、退学者数には編入学生や転入学生、転科生も含めて記入してください。
- ・「主な退学理由」は、下の項目を参考に記入してください。その際、「修学意欲の低下 (○人)」というように、その人数も含めて記入してください。
(記入項目例) ・修学意欲の低下 ・学力不足 ・他の教育機関への入学・転学 ・海外留学
・就職 ・学生個人の心身に関する事情 ・家庭の事情 ・除籍 ・その他

(5) -⑤ 調査対象学部等の年度ごとの退学者の割合

【令和8年度】

$$\frac{\text{令和8年度の退学者数(a)}}{\text{令和8年度の在学者数(a+b)}} = \frac{0}{40} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

2 授業科目の概要

<知能ロボット工学科>

(1) ー① 授業科目表

【認可時又は届出時】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 一 助 手 外
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
一 般 科 目	国語Ia	1前	1			1					
	国語Ib	1後	1			1					
	国語IIa	2前	1					1			
	国語IIb	2後	1					1			
	国語IIIa	3前	1			1					
	国語IIIb	3後	1			1					
	国語表現法	4後	2			1					
	日本語文化論	5前		1				1			
	日本の文学	5前		1			1				
	国文学・国語学	5後		1		1					
	数学Ia	1前	2				1				
	数学Ib	1後	2				1				
	数学IIa	1前	2			1					
	数学IIb	1後	2			1					
	数学IIIa	2前	2			1					
	数学IIIb	2後	2			1					
	数学IVa	2前	1			1					
	数学IVb	2後	1			1					
	数学Va	3前	2			1					
	数学Vb	3後	2			1					
	確率・統計	3前	1				1				
	数学特講A	5前		1		1					
	数学特講B	5前		1		1					
	数学特講C	5前		1		1					
	地理a	1前	1							1	
	地理b	1後	1							1	
	歴史I	1後	1							1	
	歴史IIa	2前	1			1					
	歴史IIb	2後	1			1					
	公共	2後	1					1			
	政治・経済	3前	1							1	
	倫理	3後	1					1			
	技術者倫理	4前	1					1			
	哲学A	5前		1						1	
	日本史学A	5前		1		1					
	環境と人類の歴史	5前		1						1	
	地理学A	5前		1						1	
	日本史学B	5前		1		1					
	社会と文化の歴史	5前		1						1	
	経済学I	5前		1						1	
	哲学B	5後		1						1	
	経済学II	5後		1						1	
	地理学B	5後		1						1	
	物理Ia	1前	1				1				
	物理Ib	1後	1				1				
	物理IIa	2前	1				1				
	物理IIb	2後	1				1				
	物理III	3前	2				1				
	化学Ia	1前	1			1					
	化学Ib	1後	1			1					
	化学IIa	2前	1					1			
	化学IIb	2後	1				1				
	ライフサイエンス・アースサイエンスAa	2前		1			1			1	
	ライフサイエンス・アースサイエンスBa	2前		1			1			1	
	ライフサイエンス・アースサイエンスAb	2後		1			1			1	
	ライフサイエンス・アースサイエンスBb	2後		1			1			1	
	自然科学特講A	5前		1				1			
	自然科学特講B	5後		1			1				
	保健・体育Ia	1前	1				1				
	保健・体育Ib	1後	1							1	
	保健・体育IIa	2前	1			1					
	保健・体育IIb	2後	1			1					
	保健・体育IIIa	3前	1			1					
	保健・体育IIIb	3後	1				1				
	保健・体育IVa	4前	1			1					
	保健・体育IVb	4後	1			1					

【令和8年度】

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			基幹教員等の配置					の 基 幹 教 員 一 助 手 外
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
一 般 科 目	国語Ia	1前	1			1					
	国語Ib	1後	1			1					
	国語IIa	2前	1					1			
	国語IIb	2後	1					1			
	国語IIIa	3前	1				1				
	国語IIIb	3後	1				1				
	国語表現法	4後	2			1					
	日本語文化論	5前		1				1			
	日本の文学	5前		1			1				
	国文学・国語学	5後		1		1					
	数学Ia	1前	2								1
	数学Ib	1後	2								1
	数学IIa	1前	2			1					
	数学IIb	1後	2			1					
	数学IIIa	2前	2			1					
	数学IIIb	2後	2			1					
	数学IVa	2前	1			1					
	数学IVb	2後	1			1					
	数学Va	3前	2			1					
	数学Vb	3後	2			1					
	確率・統計	3前	1				1				
	数学特講A	5前		1		1					
	数学特講B	5前		1		1					
	数学特講C	5前		1		1					
	地理Ia	1前	1								1
	地理Ib	1後	1								1
	歴史I	1後	1				1				
	歴史IIa	2前	1				1				
	歴史IIb	2後	1				1				
	公共	2後	1					1			
	政治・経済	3前	1							1	
	倫理	3後	1					1			
	技術者倫理	4前	1					1			
	哲学A	5前		1						1	
	日本史学A	5前		1		1					
	環境と人類の歴史	5前		1						1	
	地理学A	5前		1						1	
	日本史学B	5前		1		1					
	社会と文化の歴史	5前		1						1	
	経済学I	5前		1						1	
	哲学B	5後		1						1	
	経済学II	5後		1						1	
	地理学B	5後		1						1	
	物理Ia	1前	1				1				
	物理Ib	1後	1				1				
	物理IIa	2前	1				1				
	物理IIb	2後	1				1				
	物理III	3前	2				1				
	化学Ia	1前	1				1				
	化学Ib	1後	1				1				
	化学IIa	2前	1					1			
	化学IIb	2後	1				1				
	ライフサイエンス・アースサイエンスAa	2前		1			1			1	
	ライフサイエンス・アースサイエンスBa	2前		1			1			1	
	ライフサイエンス・アースサイエンスAb	2後		1			1			1	
	ライフサイエンス・アースサイエンスBb	2後		1			1			1	
	自然科学特講A	5前		1				1			
	自然科学特講B	5後		1			1				
	保健・体育Ia	1前	1					1			
	保健・体育Ib	1後	1				2	1			1
	保健・体育IIa	2前	1				1				
	保健・体育IIb	2後	1				1				
	保健・体育IIIa	3前	1				1				
	保健・体育IIIb	3後	1					1			
	保健・体育IVa	4前	1				1				
	保健・体育IVb	4後	1				1				

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			基幹教員等の配置					の 過 剰 教 員 を 教 員 除 く （ 助 手 以 外
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
一 般 科 目	スポーツ科学演習A	5後		1		2					1
	スポーツ科学演習B	5後		1		2	1				
	芸術	1前	1								1
	英語Ia	1前	2			1					
	英語Ib	1後	2			1					
	英語IIa	2前	2			1					
	英語IIb	2後	2			1					
	英語III	3前	2				1				
	英語演習A	3後	1				1				
	英語演習B	3後	1			1					
	英語演習C	4前	1			1					
	英語演習Da	4前	1				1				
	英語演習Db	4後	1			1	1				
	英語演習E	5前	1			1	1				
	英語演習F	5後	1				1				
	応用英語A	5前		1		1					
	応用英語B	5前		1		1					
	言語学I	5前		1		1					
	言語学II	5後		1		1					
	国際コミュニケーション(ドイツ語)	4後		1							1
	国際コミュニケーション(中国語)	4後		1							1
	国際コミュニケーション(韓国語)	4後		1							1
専 門 科 目	情報基礎a	1前	1					1			
	情報基礎b	1後	1					1			
	神戸学概論	1前	1			2	1				
	小計 (91 科目)	-	75	31	0	14	10	3			10
	知能ロボット工学概論	1前	1			1					
	ロボット基礎実習a	1前	1			1					
	ロボット基礎実習b	1後	1			1					
	ロボット工学基礎	1前	1				1				
	プログラミング	1後	1				1				
	ソフトウェア工学	1後	1				1				
	機械加工工学	2前	1				1				
	計算機工学	2前	1				1				
	ロボット製作実習	2前	1				1				
	工業力学	2前	1				1				
	デジタル信号処理基礎	2後	1				1				
	機械製図	2後	1				1				
	電気基礎I	2後	1			1					
	電気基礎II	3前	1			1					
	AI基礎演習a	2前	1					1			
	AI基礎演習b	2後	1					1			
専 門 科 目	プログラミング応用a	3前	1			1					
	プログラミング応用b	3後	1			1					
	材料工学	3前	1			1					
	アクチュエータ工学	3前	1				1				
	電気数学a	3前	1				1				
	電気数学b	3後	1				1				
	知能ロボット工学実験a	3前	1			1					
	知能ロボット工学実験b	3後	1			1					
	ロボット設計工学	3後	1				1				
	材料力学	3後	1			1					
	アルゴリズムとデータ構造	3後	1				1				
	神戸学創造演習a	3前	1				3				
	神戸学創造演習b	3後	1				3				
	応用物理	4前	1			1					
	熱力学	4前	1				1				
	機械力学	4前	1			1					
	流体力学	4後	1				1				
	ロボティクスデザイン	4前	2			1					
	情報ネットワークa	4前	1			1					
	情報ネットワークb	4後	1				1				
専 門 科 目	情報理論a	4前	1			1					
	情報理論b	4後	1			1					
	自動制御	4前	2				1				
	ラプラス・フーリエ変換論	4前	1				1				
	計測工学	4後	1			1					
	複素関数論	4後	1			1					
	ロボット史	4後	2			1					
	ロボット制御工学	4後	2			1					
	ロボット工学実験I	4後	2			2					
	ロボット工学実験II	5前	2			2	4				
	人工知能	4後	2			1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			基幹教員等の配置					の 過 剰 教 員 を 教 員 除 く （ 助 手 以 外
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
一 般 科 目	スポーツ科学演習A	5後		1		2					1
	スポーツ科学演習B	5後		1		2	1				
	芸術	1前	1								1
	英語Ia	1前	2				1				
	英語Ib	1後	2				1				
	英語IIa	2前	2			1					
	英語IIb	2後	2			1					
	英語III	3前	2				1				
	英語演習A	3後	1				1				
	英語演習B	3後	1			1					
	英語演習C	4前	1			1					
	英語演習Da	4前	1				1				
	英語演習Db	4後	1			1	1				
	英語演習E	5前	1			1	1				
	英語演習F	5後	1				1				
	応用英語A	5前		1		1					
	応用英語B	5前		1		1					
	言語学I	5前		1		1					
	言語学II	5後		1		1					
	国際コミュニケーション(ドイツ語)	4後		1							1
	国際コミュニケーション(中国語)	4後		1							1
	国際コミュニケーション(韓国語)	4後		1							1
一 般 科 目	情報基礎a	1前	1					1			
	情報基礎b	1後	1					1			
	神戸学概論	1前	1			5					
	小計 (91 科目)	-	75	31	0	18	8	3			11
	知能ロボット工学概論	1前	1				1				
	ロボット基礎実習a	1前	1			1	2	1	1		
	ロボット基礎実習b	1後	1			1	1	1	1		
	ロボット工学基礎	1前	1			1	2	1	1		
	プログラミング	1後	1			1	1	1	1		
	ソフトウェア工学	1後	1				1				
	機械加工工学	2前	1				1				
	計算機工学	2前	1				1				
	ロボット製作実習	2前	1			1					
	工業力学	2前	1			1					
	デジタル信号処理基礎	2後	1				1				
	機械製図	2後	1			1					
	電気基礎I	2後	1			1					
	電気基礎II	3前	1			1					
	AI基礎演習a	2前	1					1			
	AI基礎演習b	2後	1					1			
専 門 科 目	プログラミング応用a	3前	1			1					
	プログラミング応用b	3後	1			1					
	材料工学	3前	1			1					
	アクチュエータ工学	3前	1				1				
	電気数学a	3前	1				1				
	電気数学b	3後	1			1					
	知能ロボット工学実験a	3前	1			1					
	知能ロボット工学実験b	3後	1			1					
	ロボット設計工学	3後	1				1				
	材料力学	3後	1			1					
	アルゴリズムとデータ構造	3後	1					1			
	神戸学創造演習a	3前	1				2		1		
	神戸学創造演習b	3後	1				2		1		
	応用物理	4前	1			1					
	熱力学	4前	1				1				
	機械力学	4前	1			1					
	流体力学	4後	1				1				
	ロボティクスデザイン	4前	2			1					
	情報ネットワークa	4前	1			1					
	情報ネットワークb	4後	1				1				
専 門 科 目	情報理論a	4前	1			1					
	情報理論b	4後	1			1					
	自動制御	4前	2				1				
	ラプラス・フーリエ変換論	4前	1				1				
	計測工学	4後	1			1					
	複素関数論	4後	1			1					
	ロボット史	4後	1			1					
	ロボット制御工学	4後	2					1			
	ロボット工学実験I	4後	2			1	1				
	ロボット工学実験II	5前	2			2	4				
	人工知能	4後	2			1					

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			基幹教員等の配置					の 過 半 数 を 教 員 （ 助 教 ・ 助 手 ） 以 外 に 手 外 す べ き と す べ き
----------	---------	------------------	-----	--	--	----------	--	--	--	--	--

科目 区分	授業科目の名称	配 当 年 次	単位数			基幹教員等の配置					の過半数を教員（助教・助手）以外に手外
			必 修	選 択	自 由	教 授	准 教 授	講 師	助 教	助 手	
専 門 科 目	線形代数・ベクトル解析a	4前	1				1				
	線形代数・ベクトル解析b	4後	1				1				
	センサ工学	5前	2				1				
	電気磁気学	5前	2				1				
	情報セキュリティ	5前	2				1				
	生産工学	5後	2				1				
	データベース	5後	2						1		
	卒業研究a	5前	4			2	4				
	卒業研究b	5後	6			2	4				
	脳情報学	5前		2			1				
	シミュレーション演習	5前		2				1			
	ロボット応用制御	5前		2			1				
	精密計測加工学	5後		2			1				
	ロボットマネジメント論	5後		2			1				
	インターフェース工学	5後		2			1				
	学外実習	4後		2			1				
	技術英語	5後		1		1					
	TOEICa	5後		1		1					
	TOEICb	5後		1		1					
	電気工事士	5後		1		1					
Linux技術者認定	5後		1		1						
機械設計技術	5後		1		1						
小計（69 科目）	－	75	20	0	3	4	1	1	20	0	
合計（160 科目）	－	150	51	0	21	12	4	1	0	11	
卒業要件及び履修方法											
一般科目75単位、専門科目82単位以上を修得し、167単位以上を修得すること(必修科目はすべて修得すること)。											

- (注) ・ 報告年度の5月1日現在の情報を記入してください。(過年度については、各年度末時点の情報として記入してください。)
- ・ 認可申請書又は設置届出書の様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、改正後大学設置基準等(令和4年10月1日施行)の適用以前については、改正前様式第2号(その2の1)に準じて作成してください。
 - ・ 各欄の作成方法は「大学の設置等に係る提出書類作成の手引」の「教育課程等の概要」を確認してください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員等の配置」としてください。
 - ・ 「基幹教員等の配置」欄の「基幹教員以外の教員(助手を除く)」は、大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は、「専任教員以外の教員(助手を除く)」としてください。
 - ・ 「認可時又は届出時」には設置認可時又は届出時の授業科目全て(基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)以外の教員(助手を除く)(改正後大学設置基準等の適用以前は兼任、兼任教員)が担当する科目を含む。)を黒字で記入してください。
その上で、各年度については、認可時又は届出時から変更となっている箇所は赤字としてください。
なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準等(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「認可時又は届出時」の「主要授業科目」欄は削除し、「基幹教員等の配置」欄は「専任教員等の配置」、「基幹教員以外の教員(助手を除く)」欄は「兼任・兼担」としてください。その上で、各年度については、「基幹教員(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員」)」数は、認可時又は届出時の「専任教員」数との比較において変更となっている箇所、「基幹教員以外の教員(助手を除く)(大学院の研究科又は研究科の専攻の場合は「専任教員以外の教員(助手を除く)」)」数は、認可時又は届出時の「兼任・兼担」数との比較において変更となっている箇所を赤字としてください。
(専任教員から基幹教員に変更したことをもって赤字とする必要はありません。)
 - ・ 履修希望者がいなかったために未開講となった科目についても科目名の後ろに「(未開講)」として記入してください。
 - ・ 1ページ目には認可時又は届出時と報告年度2つの表を記入してください。
 - ・ 不要な年度(令和7年度開設であれば令和6年度以前)の表は適宜削除してください。
(2つの表が1ページに表示されるようにしてください。)
 - ・ 専門職大学等の場合、「実験、実習又は実技による授業科目」には【※】、「臨地実務実習」による授業科目には【臨】、「連携実務演習」による授業科目には【連】を授業科目の名称の右側に記入してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、旧カリキュラムについても記載してください。
その場合は、新カリキュラムを全て記載したのち、最後に記載欄を追加し、年度ごとに記載してください。
新旧がある年度については、その別がわかるように各年度の右側に(新)又は(旧)と追記してください。
(例：記載順)【認可時又は届出時】→【令和8年度(新)】→【令和7年度(新)】→【令和6年度】→【令和5年度】→【令和8年度(旧)】→【令和7年度(旧)】

(1) ②授業科目表に関する変更内容

【令和8年度】

- ・ 担当教員の見直しにより、「数学Ia」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「基幹教員以外の教員1」に変更
- ・ 授業科目の名称の見直しにより、「地理a」から「地理Ia」に変更
- ・ 担当教員の見直しにより、「歴史I」の基幹教員等の配置を「基幹教員以外の教員1」から「教授1」に変更
- ・ 担当教員の見直しにより、「保健・体育Ib」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授3」、「准教授1」に変更
- ・ 担当教員の見直しにより、「英語Ia」の基幹教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更
- ・ 担当教員の昇任により、「英語III」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・ 担当教員の見直しにより、「神戸学概論」の基幹教員等の配置を「教授2」、「准教授1」から「教授5」に変更
- ・ 担当教員の見直しにより、「ロボット基礎実習a」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授1」、「准教授2」、「講師1」、「助教1」に変更
- ・ 担当教員の見直しにより、「ロボット基礎実習b」の基幹教員等の配置を「教授1」から「教授1」、「准教授1」、「講師1」、「助教1」に変更
- ・ 担当教員の見直しにより、「ロボット工学基礎」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「教授1」、「准教授2」、「講師1」、「助教1」に変更
- ・ 担当教員の見直しにより、「プログラミング」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「教授1」、「准教授1」、「講師1」、「助教1」に変更
- ・ 担当教員の見直しにより、「ロボット製作実習」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・ 担当教員の採用および担当教員の見直しにより、「工業力学」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・ 担当教員の退職と採用により、「電気数学b」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「教授1」に変更
- ・ 担当教員の見直しにより、「アルゴリズムとデータ構造」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更
- ・ 担当教員の退職と採用により、「神戸学創造演習a」の基幹教員等の配置を「准教授3」から「准教授2」、「助教1」に変更
- ・ 担当教員の見直しにより、「応用物理」の基幹教員等の配置を「教授1」から「准教授1」に変更
- ・ 届出時の誤記により、「ロボット史」の単位数（必修）を「2」から「1」に修正
- ・ 担当教員の退職および担当教員の見直しにより、「ロボット制御工学」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更
- ・ 担当教員の退職と採用により、「ロボット工学実験I」の基幹教員等の配置を「准教授2」から「教授1」、「准教授1」に変更
- ・ 担当教員の退職と採用により、「データベース」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「助教1」に変更
- ・ 担当教員の見直しにより、「シミュレーション演習」の基幹教員等の配置を「准教授1」から「講師1」に変更

- (注)・ 2 (1) ④ 授業科目表に記入された各年度における変更内容（配当年次の変更、基幹教員等の配置の変更、主要授業科目の変更、授業科目名の変更、新規科目の追加など）を箇条書きで記入してください。
変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ 変更内容には、授業科目の未開講や廃止については記入しないでください。また、改正後大学設置基準（令和4年10月1日施行）の適用により、専任教員から基幹教員に変更した場合（例：「専任教員 教授1」から「基幹教員 教授1」に変更）や、兼任・兼任教員から基幹教員以外の教員に変更した場合（例：「兼任教員1」から「基幹教員以外の教員1」に変更）については、記入しないでください。
 - ・ 不要な年度（令和7年度開設であれば令和6年度以前）の表は適宜削除してください。
 - ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、新旧の変更内容をそれぞれ1つの枠内に記入してください。

(2) 授業科目数

設置時の計画				変更状況				備考
必修	選択	自由	計 (A)	必修	選択	自由	計	
116 科目	44 科目	0 科目	160 科目	116 科目 [-]	44 科目 [-]	0 科目 [-]	160 科目 [-]	

- (注)・ 未開講科目も含めた教育課程上の授業科目数を記入するとともに、[] 内に、設置時の計画からの増減を記入してください。(記入例：1 科目減の場合：△ 1)
- ・ 指定規則の改正により、新旧カリキュラムを並行して実施している場合は、「変更状況」には変更後のカリキュラム（新カリキュラム）の授業科目数及び設置時の計画からの増減を記入するとともに、「備考」に変更前のカリキュラム（旧カリキュラム）の授業科目数と設置時の計画からの増減を記入してください。

(3) 未開講科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	未開講の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・配当年次に達しているにも関わらず、何らかの理由で未開講となっている授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・履修希望者がいなかったために未開講となった科目については記入しないでください。
- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」と修正して記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「未開講の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(4) 廃止科目

番号	授業科目名	単位数	配当年次	一般・専門	必修・選択	廃止の理由、代替措置の有無
1						該当なし
2						
3						

(注)・設置時の計画にあり、何らかの理由で廃止（教育課程から削除）した授業科目について記入してください。なお、理由については可能な限り具体的に記入してください。

- ・教職大学院の場合は、「一般・専門」を「共通・実習・その他」として記入してください。
- ・専門職大学等の場合は、「一般・専門」を「基礎、展開、職業専門、総合」と修正して記入してください。
- ・該当がない場合は「廃止の理由、代替措置の有無」欄に「該当なし」と記入してください。

(5) 授業科目を未開講又は廃止としたことに係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

該当なし

(注)・授業科目を未開講又は廃止としたことによる学生の履修への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

(6) 「設置時の計画の授業科目数の計」に対する「未開講科目と廃止科目の計」の割合

$$\frac{\text{未開講科目（３）と廃止科目（４）の計}}{\text{設置時の計画の授業科目数の計（Ａ）}} = \frac{0}{160} = \boxed{0} \%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

- ・ 「未開講科目と廃止科目の計」が、「（３）未開講科目」と「（４）廃止科目」の合計数となるように留意してください。

3 施設・設備の整備状況、経費

区 分		内 容				備考			
(1) 校地等	区 分	専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
	校 舎 敷 地	85,478㎡	0㎡	0㎡	85,478㎡				
	そ の 他	0㎡	0㎡	0㎡	0㎡				
	合 計	85,478㎡	0㎡	0㎡	85,478㎡				
(2) 校 舎		専 用	共 用	共用する他の学校等の専用	計				
		25560㎡ (23,985㎡)	0㎡ (0㎡)	0㎡ (0㎡)	25560㎡ (23,985㎡)				
(3) 教室・教員研究室		教 室	169室			高専全体			
(4) 図書・設備	新設学部等の名称	図 書		学術雑誌		機械・器具	標本	学科単位での特定不能なため、高等専門学校全体	
		〔うち外国書〕冊	電子図書〔うち外国書〕	〔うち外国書〕種	電子ジャーナル〔うち外国書〕				
	高専全体	77,630 [4,350] (77,630 [4,350])	0 [0] (0 [0])	60 [1] (60 [1])	3 [3] (3 [3])	0 (0)	0 (0)		
	計	77,630 [4,350] (77,630 [4,350])	0 [0] (0 [0])	60 [1] (60 [1])	3 [3] (3 [3])	0 (0)	0 (0)		
(5) スポーツ施設等		スポーツ施設		講堂	厚生補導施設				
		3,480.69 ㎡		0㎡	0㎡				
(6) 経費の見積り及び維持方法の概要	経費の見積り	区 分	開設年度	完成年度	区 分	開設前年度	開設年度	完成年度	
		教員 1 人当り研究費等	650千円	650千円	図書購入費	1,000千円	1,000千円	1,000千円	
		共 同 研 究 費 等	33,500千円	33,500千円	設備購入費	355,200千円	355,200千円	106,000千円	
	学生 1 人当り	第 1 年次	第 2 年次	第 3 年次	第 4 年次	第 5 年次			
	納付金	380千円	280千円	280千円	270千円	270千円			
	学生納付金以外の維持方法の概要		運営費交付金、雑収入等						

(注)・設置時の計画を、申請書の様式第2号(その1の1)又は(その1の3)に準じて作成してください。

(複数のキャンパスに分かれている場合、複数の様式に分ける必要はありません。なお、「(1)校地等」及び

「(2)校舎」は大学全体の数字を、その他の項目はA C対象学部等の数値を記入してください。)

・「(4)図書・設備」については、上段に完成年度の予定数値を、下段には報告年度の5月1日現在の数値を記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに変更のあったものについては、変更部分を赤字で見え消し修正するとともに、その理由及び報告年度「(8)」を「備考」に赤字で記入してください。

なお、昨年度の報告において赤字で見え消した部分については、見え消しのまま黒字にしてください。

・校舎等建物の計画の変更(校舎の総面積の減少、建築計画の遅延)がある場合には、「建築等設置計画変更書」を併せて提出してください。

・高等専門学校については「(3)教室・教員研究室」欄の「教員研究室」は記載不要です。

・国立大学については「(6)経費の見積り及び維持方法の概要」は記載不要です。

4 既設大学等の状況

大 学 の 名 称	神戸市立工業高等専門学校									収容定員充足率0.7倍以下の学科数	0	収容定員充足率1.15倍以上の学科数	0
既設学部等の名称	修業年限	入学定員	編入学定員	収容定員	学位又は称号	収容定員充足率	収容定員充足率(控除後)	定員変更年度(AC期間の学科のみ)	開設年度	所在地	備 考		
	年	人	年次人	人		倍	倍	年度	年度				
知能ロボット工学科	5	40	-	200	準学士(工学)	1.03	-	-	令和8	兵庫県神戸市西區学園東町6丁目3番地			
システム情報工学科	5	40	-	200	準学士(工学)	1.00	-	-	令和8	同上			
機械システム工学科	5	40	-	200	準学士(工学)	1.12	-	-	昭和38年	同上			
電気電子デザイン工学科	5	40	-	200	準学士(工学)	1.05	-	-	昭和38年	同上			
環境応用化学科	5	40	-	200	準学士(工学)	1.01	-	-	昭和38年	同上			
都市デザイン工学科	5	40	-	200	準学士(工学)	1.06	-	-	昭和38年	同上			
学校全体	5	240	-	1,200	-	-	-	-	-	-			

(注)・本調査の対象となっている大学、短期大学及び高等専門学校（以下「大学等」という。）について、既に設置している学部等（短期大学、高等専門学校にあっては学科等）の報告年度の5月1日現在の状況を記入してください。（大学院、専攻科及び別科を除く）
なお、本調査の対象となっている大学等の設置者が設置している他の大学等の状況については、記入する必要はありません。
・記載項目以外、保護をかけています。不要な行は、「非表示」設定としてください。また、記載する必要がない学校種の記載欄については、「入学定員超過率」及び「収容定員充足率」が0.7倍以下又は1.15倍以上の学科数を記入する項目を「-」とした上で、「非表示」設定としてください。
・学部の学科等、「入学定員を定めている組織」ごとに全ての組織を記入してください。
※「入学定員を定めている組織」ごとに、課程認定等によりコース・専攻に入学定員を定めている場合を含めます。
履修上の区分としてコース・専攻を設けている場合は含めません。
・本年度ACの対象となる学部等については、必ず下線を引いてください。
・「収容定員充足率」には、報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記入してください。
開設後、完成年度を迎えていない学科等については、開設年度から報告年度までの報告年度における5月1日現在の収容定員数に対する学生数の割合を記載してください。
算出に当たっては、「大学の設置等に係る提出書類の作成の手引（令和9年度開設用）IV.33収容定員の充足状況」をご確認ください。
・「収容定員充足率（控除後）」には、「収容定員充足率」が1.00倍を超える場合、「大学、短期大学及び高等専門学校の設置等に係る認可の基準」第1条第2項により修業年限超過者を控除した場合及び附則第2項及び第4項を適用した場合の控除及び適用後の「収容定員充足率」を記入してください。
なお、「収容定員充足率」が1.00倍以下の場合や、1.00倍を超える場合であっても上記の控除及び適用がない場合には、「-」としてください。
・「収容定員充足率（控除後含む）」は、小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで記入してください。
また、0.7倍以下又は1.15倍以上の学科については、必ず太字にしてください。当該設定は、学科のみとし、学部及び専攻を太字にする必要はありません。
・「備考」の欄については、学年進行中の入学定員の増減や学生募集停止など、収容定員に影響のある情報を記入してください。
・「所在地」及び「備考」については、セルの結合ではなく、書式設定より設定の上、文字サイズ変更を行ってください。
詳しくは、本シート右に記載のコメント機能で操作方法を案内していますのでご参照ください。

5 教育研究実施組織の状況

< 知能ロボット工学科 >

(1) - ① 担当教員表

【認可時又は届出時】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) < 就任 (予定) 年月 > 保有学位等
		担当授業科目名

【令和 8 年度】

教員 区分	職名	氏 名 (年 齢) < 就任 (予定) 年月 > 保有学位等
		担当授業科目名

(1) 一②担当教員表に関する変更内容

【令和8年度】

- (注)・ 変更内容を箇条書きで記入してください。変更がない年度は「特になし。」と記入してください。
- ・ **認可で設置された学部等の基幹（専任）教員を変更する場合は**、当該基幹（専任）教員が授業を開始する前に必ず「基幹（専任）教員採用等設置計画変更書」を提出し、大学設置・学校法人審議会による教員資格審査（ＡＣ教員審査）を受けてください。
原則としてＡＣ教員審査を受けずに基幹（専任）教員として授業等を担当することは出来ません。
なお、改正前大学設置基準等に基づいて認可を受けて設置された学部等が、改正後大学設置基準等への適用のため、大学が基幹教員の要件を満たすと判断した「専任教員」を「基幹教員」とする場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要はない扱いとしています。（改正後大学設置基準等の適用にあたり、「基幹教員」の担当授業科目を追加する場合、「基幹教員」の担当授業科目の内容を変更するなど、ＡＣ教員審査の受審を求めている事由が発生する場合は、ＡＣ教員審査を受審する必要があります。）
 - ・ ＡＣ教員審査の結果、「可」の教員判定を受けている場合は「○年○月教員審査済」と記入してください。
 - ・ なお、設置認可審査時に教員審査省略となっている場合は、「教員審査省略」と記入してください。
 - ・ 不要な年度（令和7年度開設であれば令和6年度以前）の表は適宜削除してください。

(2) 基幹教員数等

(注)・計画の区分が「学部等連係課程実施基本組織(学科連係課程実施学科)の設置」の場合、大学設置基準第四十一条第二項(短期大学設置基準第三条の二)に基づく「連係協力学部等(連係協力学科)」の基幹教員数について、「(2) - ① 設置基準上の必要基幹教員数」及び「(2) - ② 基幹教員等数【大学】」を連係協力学部等(連係協力学科)ごとに別ファイルで作成してください。

(2) - ① 設置基準上の必要基幹教員数

完成年度時における 設置基準上の必要基 幹教員数(α)	うち、完成年度時 における設置基準上の 必要教授数	うち、完成年度時における 設置基準上の専ら当該学部 等の教員研究に従事する必 要基幹教員数(α)の4 分の3以上)
52	26	39
名	名	名

(注)・大学設置基準別表第一、短期大学設置基準別表第一、高等専門学校設置基準第六条第九項により算出される基幹教員数を記入してください。
・高等専門学校の場合、「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授数」欄は「うち、完成年度時における設置基準上の必要教授・准教授数として、高等専門学校設置基準第八条により算出される必要教授・准教授数を記入してください。

(2) - ② 基幹教員等数【大学・高専】

設置時の計画							現在(報告時)の状況						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (A)	うち専ら当該学部等の 教員研究に従事する者 (「基(主専)」及び 「基(専)」の計) (A')	助手 (A'')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (B)	うち専ら当該学部等の 教員研究に従事する者 (「基(主専)」及び 「基(専)」の計) (B')	助手 (B'')
47	28	4	0	79	79	0	58	24	9	0	91	91	0
(58)	(24)	(9)	(0)	(91)	(91)	(0)							
現在(報告時)の完成年度時の状況							現在(報告時)の完成年度時の計画						
教 授	准教授	講 師	助 教	計 (C)	うち専ら当該学部等の 教員研究に従事する者 (「基(主専)」及び 「基(専)」の計) (C')	助手 (C'')	教 授	准教授	講 師	助 教	計 (D)	うち専ら当該学部等の 教員研究に従事する者 (「基(主専)」及び 「基(専)」の計) (D')	助手 (D'')
47	28	4	0	79	79	0	47	28	4	0	79	79	0
[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]	[0]

(注)・「設置時の計画」には、設置時に予定されていた完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に開設時の状況を記入してください。
・高等専門学校の場合、「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」欄は、「うち専ら当該高等専門学校の教育に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)」として記入してください。
・なお、設置認可時又は届出時、改正前大学設置基準(令和4年10月1日施行前)に基づき、対象学部等を設置している場合、「設置時の計画」欄は「設置時の計画(改正前大学設置基準等)」とした上で、「専任教員」及び「助手」の人数を記入してください。
また、「計(A)」の「うち専ら当該学部等の教育研究に従事する者(「基(主専)」及び「基(専)」の計)(A')」欄には「-」を記入してください。
・「現在(報告時)の状況」には、報告年度の5月1日の教員数(実人数)を記入してください。
・「現在(報告時)の完成年度時の状況」には、認可で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、教員審査を受審済みであり、完成年度までに就任する教員数を加えた数を、届出で設置された学部等の場合は、「現在(報告時)の状況」に記入した数字に、完成年度までに就任することが決定している教員数を加えた数を記入するとともに、() 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)
・「現在(報告時)の完成年度時の計画」には、予定されている完成年度時の人数を記入するとともに、() 内に設置時の計画との増減数を記入してください。(記入例：1名減の場合：△1)

(2) - ③ 年齢構成

年齢構成		
定年規定の定める 定年年齢(歳)	報告時(上記 (B))の教員の うち、定年を延長 して採用している 教員数	完成年度時(上記 (C))の教員う ち、定年を延長し て採用する教員数
65	0	0
歳	名	名

(注)・「年齢構成」には、当該学部における教員の定年に関する規定に基づく定年年齢(特例等による定年年齢ではありません)、及び、報告年度の5月1日現在、定年に関する規定に基づく特例等により定年を超えて基幹教員として採用されている教員数及び完成年度時に定年を超えて基幹教員として採用する教員数を記入してください。
・なお、職位等によって定年年齢が異なる場合には、職位ごとの定年年齢を「定年規定の定める定年年齢」に二段階書きで記入し、「定年を延長している教員数」には合算した数を記入してください。

(2) - ④ 設置時の計画に対する教員充足率

【基幹教員全体】
$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C)}}{\text{設置時の計画(A)}} = \frac{79}{79} = 100\%$$

【基幹教員のうち、専ら当該学部等の教育研究に従事する者】
$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C')}}{\text{設置時の計画(A')}} = \frac{79}{79} = 100\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑤ 現在(報告時)の状況における定年を延長している教員構成率

$$\frac{\text{報告時の教員のうち、定年を延長して採用している教員数}}{\text{現在(報告時)の状況(B)}} = \frac{0}{91} = 0\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(2) - ⑥ 設置時の計画に対する助手充足率

$$\frac{\text{現在(報告時)の完成年度時の状況(C'')}}{\text{設置時の計画(A'')}} = \frac{0}{0} = -\%$$

(注)・小数点以下第3位を切り捨て、小数点以下第2位まで表示されます。

(3) 基幹(専任)教員辞任等の理由

(3)-① 基幹(専任)教員の就任辞退(未就任)の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	就任辞退（未就任）の理由			
1	准教授			必修	デジタル信号処理基礎	①	R8.3 退職のため未就任			
				必修	電気数学a	①				
				必修	電気数学b	①				
				必修	神戸学創造演習a	①				
				必修	神戸学創造演習b	①				
				必修	自動制御	①				
				必修	ロボット制御工学	①				
				必修	ロボット工学実験I	①				
				必修	ロボット工学実験II	①				
				必修	センサ工学	①				
				必修	データベース	①				
				必修	卒業研究a	①				
				必修	卒業研究b	①				
				選択	ロボット応用制御	①				
合 計（D）						後任補充状況の集計（E）				
就任を辞退した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）	
1	人	必修	13	科目	必修	13	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	14	科目	計	14	科目	計	0	科目

(注)・認可時又は届出時以降、就任を辞退した全ての基幹(専任)教員の就任辞退の理由を具体的に記入してください。

・「就任辞退(未就任)」とは、認可又は届出時に就任予定としながら、実際には就任しなかった教員のことです。

・就任した後に辞任した教員は、以下「(3)-②基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況」に記入してください。

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに就任を辞退した場合、赤字にて記入するとともに、「就任辞退(未就任)の理由」に就任辞退の理由等及び()書きで報告年度を記入してください。

・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」

・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」

・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-② 基幹(専任)教員辞任の理由及び後任補充状況

番 号	職 位	基幹（専任）教員氏名	時期	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由			
		該当なし								
合 計（F）					後任補充状況の集計（G）					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）	③の合計数（c）		
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

(注)・一度就任した後に、定年による退職以外の理由で辞任した全ての基幹(専任)教員について、記入してください。

(学年進行中に基幹教員の要件を満たさなくなったことにより、基幹教員でなくなった教員についても記入してください。)

・昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹(専任)教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び()書きで報告年度を記入してください。

・また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。

・基幹(専任)教員が担当する(している)場合は「①」

・基幹(専任)教員以外の教員(兼任兼担教員)が担当する(している)場合は「②」

・後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(3)-③ 上記(3)-①・(3)-②の合計

合計（Ｄ）＋（Ｆ）				後任補充状況の集計（Ｅ）＋（Ｇ）									
辞任等した教員数		担当科目数の合計（a）＋（b）＋（c）			①の合計数（a）		②の合計数（b）		③の合計数（c）				
1	人	必修	13	科目	必修	13	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	1	科目	選択	1	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	14	科目	計	14	科目	計	0	科目	計	0	科目

(3)-④ 設置時の計画に対する教員辞任率

$$\frac{(3)-③合計(D)+(F)}{(2)-②設置時の計画(A)} = \frac{1}{79} = 1.26\%$$

(注)・ 小数点以下第 3 位を切り捨て、小数点以下第 2 位まで表示されます。

(3)－⑤ 令和 7 年度報告書から、新たに辞任等した基幹（専任）教員等の状況

1

人

(注)・ (3)－①、(3)－②で赤字で記載した基幹（専任）教員数の合計数を記載してください。

・令和 8 年度開設の学科等の場合、(D) + (F) と同数を記載してください。

(3) 一⑥ 定年により退職した基幹（専任）教員に対する後任補充状況

番 号	職 位	基 幹（専任）教員氏名	必修・選択・自由の別	担当予定科目	後任補充状況	辞任等の理由				
		該当なし								
合 計					後任補充状況の集計					
辞任した教員数		担当科目数の合計（a）+（b）+（c）		①の合計数（a）		②の合計数（b）	③の合計数（c）			
0	人	必修	0	科目	必修	0	科目	必修	0	科目
		選択	0	科目	選択	0	科目	選択	0	科目
		自由	0	科目	自由	0	科目	自由	0	科目
		計	0	科目	計	0	科目	計	0	科目

- (注)・ 定年により退職した全ての基幹（専任）教員について、記入してください。
- ・ 昨年度の報告後から今年度の報告時までに基幹（専任）教員が新たに辞任等した場合、赤字にて記入するとともに、「辞任等の理由」に辞任理由等及び（ ）書きで報告年度を記入してください。
 - ・ また、担当予定であった科目の後任補充の状況について、各科目ごとに状況を以下「①」～「③」から選択し、「後任補充理由」の欄にその数字を記載してください。
- ・ 基幹（専任）教員が担当する（している）場合は「①」
 - ・ 基幹（専任）教員以外の教員（兼任兼担教員）が担当する（している）場合は「②」
 - ・ 後任未定、科目廃止など、上記「①」「②」以外の場合は「③」

(4) 基幹（専任）教員交代に係る「大学の所見」及び「学生への周知方法」

退職した基幹教員の担当予定科目を担当教員の採用または見直しにより代替している。学生への周知は、時間割及びシラバスへの掲載により行っている。

- (注)・ 上記（3）の基幹（専任）教員辞任等による学生の履修等への影響に関する大学の所見、学生への周知方法、今後の方針などを可能な限り具体的に記入してください。

6 附帯事項等に対する履行状況等

区 分	附 帯 事 項 等	履 行 状 況	今後の 実施計画
認 可 時 (令和7年)	該当なし		

(注)・「認可時」には、認可時または届出時に付された附帯事項（学校法人の寄附行為又は寄附行為変更の認可の申請に係る附帯事項を除く。以下同様。）と、それに対する履行状況等について、具体的に記入してください。

- ・ 認可時または届出時に付された附帯事項に対する履行状況等の記載に当たっては、以下のとおり記載してください。

【令和7年度報告書から記載内容に変更がある場合】

令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「（7）」と記載した上で、変更後の「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（8）」と記載してください。

【令和7年度報告書から記載内容に変更がない場合】

令和7年度報告書の記載内容を転記し文末に「（7）（8）」と記載してください。

【令和8年度から新たに調査対象となった学科等又は令和7年度設置計画履行状況調査で付された指摘の場合】

「履行状況」及び「今後の実施計画」を記載し文末に「（8）」と記載してください。

- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該年度の調査の結果、**当該大学に付された指摘を全て記入するとともに、付された指摘に対する履行状況等について、具体的かつ明確に記入**してください。
その履行状況等の参考や根拠となる資料があれば、添付してください。
- ・ 「履行状況」では、履行中であれば「履行中」、履行が完了していれば「履行済」を選択してください。
- ・ 該当がない場合には、「附帯事項等」の部分に「該当なし」と記入してください。
- ・ 「設置計画履行状況調査結果」には、当該調査の実施年度の年を記入してください。

7 その他全般的事項

<知能ロボット工学科>

(1) 設置計画変更事項等

設 置 時 の 計 画	変更内容・状況、今後の見通しなど

(注)・ 1～6の項目に記入した事項以外で、設置時の計画より変更のあったもの（未実施を含む。）及び法令適合性に関して生じた留意すべき事項について記入してください。

(2) 教員の資質の維持向上の方策（FD・SD活動含む）

① 実施体制

a 委員会の設置状況

- ・ 教員の資質の維持向上に関する取り組みは、教務委員会、自己評価委員会が担当している。

b 委員会の開催状況（教員の参加状況含む）

（教務委員会）

- ・ 原則として月1回開催している。
- ・ 委員会は教務主事（教育）、副主事（教育）、各専門学科の代表者1名、一般科の代表者2名、情報教育研究支援センターの代表者1名及び事務室学生課教務担当係長で構成される。委員長は、教務主事（教育）が務める

（自己評価委員会）

- ・ 原則として月1回開催している。
- ・ 委員会は教務主事（研究）、副主事（研究）1名、各専門学科及び一般科の代表者各1名、事務室総務課総務担当係長、学生課教務担当係長で構成される。委員長は、教務主事（研究）が務める。

c 委員会の審議事項等

（教務委員会）

- (1) 教務に関する情報の収集、整理及び適用
- (2) 教育活動として行われる諸活動の立案及び実施
- (3) 視聴覚教育に関すること。
- (4) FDの計画及び実施に関すること。
- (5) 他の委員会に属さない教務に関すること。

（自己評価委員会）

- (1) 内部アンケート（学生による授業評価等）の実施及びその結果の分析並びに対応の検討
- (2) 外部アンケート（卒業生・修了生、企業等に対するアンケート等）の実施及びその結果の分析並びに対応の検討
- (3) 自己評価及び外部評価に関する企画及び実施並びに総括
- (4) 別に定める自己点検項目に基づく定期的な自己点検評価の実施
- (5) 外部機関認証（機関別認証評価）に関する実務

② 実施状況

a 実施内容

(教務委員会)

- ・ 授業方法等、教育に関するFD学習会の実施
- ・ 授業公開（教員相互の授業参観）

(自己評価委員会)

- ・ 授業評価アンケート、学校満足度調査アンケート
- ・ 卒業生・修了生、企業等に対するアンケート

b 実施方法

(教務委員会)

- ・ FD学習会：本部棟ホールにおける対面講義形式やオンライン形式にて実施する。
- ・ 授業公開：前期と後期にそれぞれ2週間の参観期間を設け、各教員は必ず1科目以上の授業を参観する。
参観教員は授業参観シートを授業担当者に提出し、感想等をフィードバックする。
授業担当者は、授業参観シートへのコメントを追記し、各科教務委員に提出する。
各科教務委員は、学科全員分の参観シートを教務委員会（教務主事室）に提出する。

(自己評価委員会)

- ・ 授業評価アンケート：学事システム上で各科目ごとに実施している。各学期末に実施している。
- ・ 学校満足度アンケート調査は、各学年末に実施している。
- ・ 卒業生・修了生、企業等に対するアンケート調査は、一定年度ごとに実施している。

c 開催状況（教員の参加状況含む）

(教務委員会)

- ・ FD学習会：全教員が集まる教員会議開催日に合わせて実施している。年に3～4回程度実施。
- ・ 教員相互の授業参観：令和8年度前期は5/11(月)～5/22(金)に実施済、後期は11月頃実施予定。

d 実施結果を踏まえた授業改善への取組状況

(教務委員会)

- ・ FD学習会：FD学習会終了後、アンケートを実施。教員毎に授業改善に取り組んでいる。
- ・ 教員相互の授業参観：参観者等からフィードバックされた内容を授業改善に活かしている。

(自己評価委員会)

- ・ 授業評価アンケート：
アンケート結果は、教員個人、学科、学校それぞれの段階でPDCAを実施している。
アンケートのスコアは、校内専用web上で全教職員、学生に公開している。
- ・ 学校満足度アンケート調査結果は学科並びに学校全体でPDCAを実施している。
- ・ 卒業生・修了生、企業等に対するアンケート調査後、PDCAを実施している。

③ 学生に対する授業評価アンケートの実施状況

a 実施の有無及び実施時期

- ・ 各学期末に実施している。

b 教員や学生への公開状況、方法等

- ・ アンケートのスコアは、校内専用web上で全教職員、学生に公開している。

(注)・「① a 委員会の設置状況」には、関係規程等を転載又は添付すること。

「②実施状況」には、実施されている取組を全て記載すること。（記入例参照）

(3) 教育課程連携協議会に関する事項

※専門職大学、専門職短期大学、専門職学科、専門職大学院以外は「該当なし」と記入ください。

該当なし

(4) 自己点検・評価等に関する事項

① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見

「神戸市立工業高等専門学校の自己点検及び評価に関する実施方針に関する規則」に基づき、自己点検を毎年度実施することになっており、現状把握と分析を行いつつ自己評価委員会を中心に自己点検・評価する予定である。

② 自己点検・評価報告書

a 公表（予定）時期

・令和8年8月1日 公表

b 公表方法

・自己点検・評価報告書を作成し、ホームページ上に公開予定（令和8年8月末を予定）

③ 認証評価を受ける計画

・令和10年に評価機関（独行法 大学改革支援・学位授与機構）の評価を受けるべく、学内で検討中

(注)・設置時の計画の変更（又は未実施）の有無に関わらず記入してください。

また、「① 設置の趣旨・目的の達成状況に関する総括評価・所見」については、できるだけ具体的な根拠を含めて記入してください。

なお、「② 自己点検・評価報告書」については、当該調査対象の組織に関する評価内容を含む報告書について記入してください。

(5) 情報公表に関する事項

○ 設置計画履行状況報告書（令和8年度）

a 公表予定の有無 [有]

《aで「有」の場合》

b 公表（予定）時期 [調査結果公表後2～3ヶ月以内]

c 公表方法 [ウェブサイトへの掲載]

《aで公表「無」の場合》

d 公表しない理由 []

※設置計画が各大学等が社会に対して着実に実現していく構想を表したものであることに鑑み、

設置計画履行状況報告書については、各大学等のウェブサイト公表するなど、積極的な情報提供をお願いします。